

平成30年  
広報よこはま  
鶴見区版2月号

毎月1日発行

つるみ

Tsurumi

2018

2

No.244

2月のヨミドコロ



年末から3月までは一年でも火災が多い時期です。特に被害を最小限に防ぐには早期発見が重要で、それには火災警報器の設置が有効だそうです。数千円の投資で命や財産を守ってくれる火災警報器。まだ未設置のご家庭は、ぜひご一読ください。



鶴見区ツイッター  
区内イベント情報を発信中。ぜひフォローください!

**生**麦の人は、うちの肉で育った人も多いのではないのでしょうか。戦後、祖父がこの場所で始めた精肉店は店頭販売のほか、長年、地元の保育園や商店に肉を卸していますからね。うちの特徴は、牛・豚・鳥の精肉に加え、コロッケ、メンチ、から揚げなどの総菜も充実しているところ。それに揚げ物はすべて店頭で衣を付けて揚げるなど、できたて、手作りにこだわっています。中でも、厚く切ったハムを衣で揚げたハムフライは、いわゆる昔ながらのハムカツで、根強い人気があります。素材にこだわった「肉屋の総菜」だからこそその味と品質だと思いますね。

ですから、月1回の朝市では、吊し焼きが自慢の焼豚や総菜類も終了間際には、ほぼ完売に。そんな地域の人に愛される店づくりこそ、地元への恩返しと思い、続けています。生麦にお越しの際は、ぜひご賞味ください。

【根岸真司さん(62)】旧東海道沿い(生麦魚河岸通り)で、戦後から続く「根岸精肉店」の3代目。現在は、奥さまと弟さんの3人で店に立つ。月1回の朝市(1月・8月を除く毎月第1日曜・8時~9時30分)では、1つ110円~162円のコロッケやメンチが3つで200円(税込)の大特価に。



根岸真司  
×  
ハムフライ

できたて、手作りがおいしさの秘訣

こだわり商店街紀行⑨

わたし × ○○○

【お店情報】「根岸精肉店」(生麦4-28-23) 生麦南仲通り商栄会 ☎511-5133 休日曜日

☎ 区役所地域振興係 ☎ 510-1688 ☎ 510-1892

## ご自宅に火災警報器付いてますか?

火災では、早期発見が大きな鍵となります。その助けとなるのが、火災警報器です。未設置の家庭は、命と財産を守るためにも設置しましょう

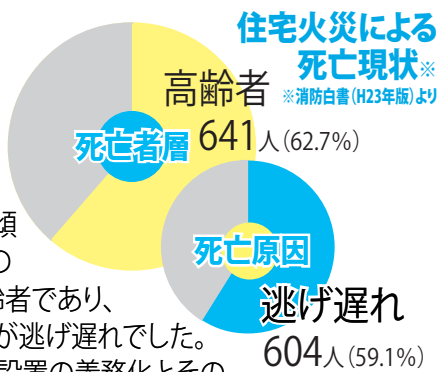
### 2タイプある住宅用火災警報器。どちらを設置すればいい?



警報器には、煙を感知する「煙式」と、一定の温度を感知する「熱式」があります。通常、部屋や廊下などには前者を、調理の煙や蒸気が充満しやすい台所には後者を設置します。

### 住宅火災の死者は約6割が高齢者で逃げ遅れ

- 近年、住宅火災が増加傾向にある中、その死者の約6割が65歳以上の高齢者であり、
- また死亡原因も6割近くが逃げ遅れでした。
- 一方、海外では、警報器設置の義務化とその普及により、死者数が半減したという報告もあり、改めてその重要性が見直されています。



### どこで買えるの? 価格はいくら?

住宅用火災警報器は、最寄りの家電量販店やホームセンターなどで購入できます。価格は1つ3,000円~5,000円程度で、購入の際は国の基準に適合した機器(NSマークが付いたもの)を目安に選びましょう。



☎ 鶴見消防署予防課 ☎ fax 503-0119

## お引っ越しをしたら区役所へ

今年も、そろそろ引っ越しのシーズンを迎えます。現在、鶴見区にお住まいで、今後引っ越しを予定されている人は、転出先により住所異動の手続きが異なりますので、ご注意ください。なお、手続きに必要なものについては、区ホームページまたはお電話でご確認ください。HP 鶴見区から転出 検索

### 転出先で手続きも変わります

#### 区内で引っ越し

新しい住所に引っ越しした日から14日以内に鶴見区役所(2階戸籍課)へ届け出ください。

#### 市内他区へ引っ越し

鶴見区での手続きは必要ありません。新たにお住まいの区役所(戸籍課)へ、引っ越しした日から14日以内に届け出ください。

#### 市外へ引っ越し

引っ越し前か、引っ越しした日から14日以内に鶴見区役所(2階戸籍課)へ届け出ください。また、引っ越し先の役所でも届出が必要です。

☎ 横浜市コールセンター ☎ 664-2525 区役所戸籍課登録担当 ☎ 510-1706

## 第14回 鶴見・あいねと推進フォーラム

日時 2月24日(土) 13時30分~16時

場所 鶴見公会堂(豊岡町2-17-ガ1 6階)

「鶴見・あいねと」は、誰もが安心して生活できるまちにするための鶴見区地域福祉保健計画の愛称です。今年、「ともに歩もう~つるみはみんなで暮らすまち~」をテーマに、長年、地域医療に取り組む八森淳先生の講演や各地域で熱心に取り組まれた活動の事例発表など盛りだくさん。そのほか、「鶴つこ」製品の展示、参加型企画「あいねとの木を咲かそう」もあります。申込みは不要ですので、ぜひ皆さまご参加ください。



講演:「このまちでともに生きていく」

つながるクリニック院長 八森 淳氏

鶴見あいねと推進委員会副委員長。全国各地での医療活動に従事。その積み重ねから「見える事例検討会」を開発。地域医療やケアの現場で広く活用されている

事例発表: ・鶴見養護学校後援会

・とちのきつず

・認知症啓発「生麦劇団」

寸劇で認知症啓発する「生麦劇団」▶



☎ 区役所事業企画担当 ☎ 510-1826 ☎ fax 510-1792

鶴見区役所は、第2・4土曜日(9時~12時)に戸籍課・保険年金課・子ども家庭支援課の一部業務を行っています  
横浜市鶴見区役所 〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央3-20-1 ☎ 510-1818(代表番号)

鶴見区のいま 人口▶288,966  
(30年1月1日現在) 世帯数▶136,090